

2021年4月4日 イースター礼拝説教要旨

詩編講解説教55「重荷をおろして生きる」

詩編55：2～9、23、マタイ11：28～30

主の年2021年のイースターを迎えました。主の御復活を祝い、その偉大な御業を讃えて尊い御名を崇めます。主は十字架で死なれ、三日目によみがえられました。納めた墓は空でした。死に打ち勝ち、死を虚しくされたのです。ここにわたしたちの希望があります。パウロも述べています。「キリストが復活しなかったのなら、わたしたちの宣教は無駄であるし、あなたがたの信仰も無駄です」(Iコリント15：14)と。キリストがよみがえられたからこそ、教会はどんな困難の中でも、信仰を捨てず、希望を失わずに今日まで礼拝を守り続けてきました。毎週日曜日、主の御復活を覚えてここに集まるのです。そのことは、現在のコロナ禍であっても、世の中がどんなに変わっても、決して変わることはない不変の真理です。

このイースターの礼拝においても詩編の御言葉を読み続けたいと思います。今日は第55編が与えられました。詩人は、恐怖に震えています。「わたしは悩みの中であってうろたえています。わたしは不安です。敵が声をあげ、神に逆らう者が迫ります。彼らはわたしに災いをふりかからせようとし憤って襲いかかります。胸の中で心はもだえ、わたしは死の恐怖に襲われています。恐れとわななきが沸き起こり、戦慄がわたしを覆い」(3～6節)その原因は「敵」の存在です。しかしこの詩編を読み進めていきますと、その敵というのはこの詩人の親しい友であったことがわかります。「わたしの友、知り合った仲。楽しく、親しく交わり、神殿の群衆の中を共に行き来したものだ」(13～15節)ある日突然信頼していた友に裏切られる。それは悲しいことですし、辛いことです。そうなる誰も信じられなくなります。おそらく程度の差はあれ、誰でもそういう経験をするのではないのでしょうか。他でもない主イエスは、愛する弟子の一人イスカリオテのユダに裏切られました。それはわたしたちが経験する裏切りの苦痛、悲しさを主もまた経験されたということです。

そういう裏切りの苦痛の中で、この詩人は自分の正直な胸の内をここで告白しています。「鳩の翼がわたしにあれば、飛び去って、宿を求め、はるかに遠く逃れて、荒れ野で夜を過ごすことができるのに」(7～8節)こういう思いをわたしたちも抱くことがあるのではないのでしょうか。辛いことがあると、何もかも捨てて、どこか遠くへ行ってしまうと思う。でも何もかも捨てて逃げ出してしまったら、自分自身も後悔するでしょうし、またそれで誰かを悲しませ、裏切ってしまうことになるのです。それで問題が解決したことになるのでしょうか。だからこそ神さまは言われるのです。「あなたの重荷を主にゆだねよ。主はあなたを支えてくださる」(23節)ある聖書学者はこのところの注解の表題を「神への逃亡」としておりました。わたしたちは神さまのところに逃げることができます。自分の重荷を下ろす場所がそこにある。それによってむしろ問題から逃げないで、そこに立ち向かう勇氣、力が与えられるのです。そこにわたしたちの新しい生き方がある。よみがえりの命を生きるというのはそういうことです。

「主はあなたを支えてくださる」(23節)とあります。誰かに支えられていると感じる時に、わたしたちは気持ちが楽になります。わたしたちは自分の重荷は全部自分で負わなければならないと思っているところがあります。問題は自分で解決しなければならないと。でも自分では自分の重荷を背負えないこと、自分では自分の人生を支えることができないことが分かる瞬間が必ずあるのです。その時にすべて放り出して逃げるのか、神さまのもとに逃げるのかで人生

は大きく変わってくる。逃げ出しても問題は解決しないでしょう。わたしたちは神さまのもとに逃げる。そこで重荷を背負ってくださるお方と出会う。それがわたしたちの人生を本当に支えるのです。

その重荷を背負ってくださる方こそイエス・キリストに他なりません。キリストはわたしたちの重荷を負って十字架に向かわれました。そしてよみがえりの命をもって、わたしたちを立ち上がらせてくださいます。その信仰がわたしたちの支えです。「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう」(マタイ11:28)との約束を与えてくださいました。神さまが重荷を負われる。それはただ教会に来て祈っていることを意味しません。神さまはそこに必ず解決の道を示されるでしょう。相談相手を与え、友人を遣わし、新しい知恵を与えてくださいます。そこには具体的な御業があります。

4月、新年度が始まりました。この年度をイースターから始めることができるのは幸いです。特にコロナ禍にあって、重苦しい状況の中で新年度をスタートしています。不安もあります。でも重荷を委ねる場所がある。「主はあなたを支えてくださる」その約束をわたしたちは知っています。そのためにキリストは十字架で死なれ、三日目によみがえられました。重荷を下ろして生きる新しい命を与えてくださったのです。この恵みの中で今日からまた歩みだしていきましょう。